

第2回田村地方交通安全大会体験発表

11月22日、三春交流館「まほら」で開催された、第2回田村地方交通安全大会で、交通安全意見発表を行った金山凜吾くん（中郷小学校5年生）の交通安全体験をご紹介します。

「自転車に乗るとき気をつけること」

中郷小学校5年 金山凜吾

ぼくは、遊びに行ったり、出かけたるときによく自転車を使いますが、ヘルメットをしないことが多かったです。なぜなら、ヘルメットをかぶるのに時間がかかり面倒に感じたり、帽子をかぶっていたりしていたからです。

しかし、交通安全教室で、自転車の乗り方を勉強した時、おまわりさんから、「もし事故にあった時、ヘルメットをしていたか、していなかったかで大きな違いがあります。」と聞かされた時から、ぼくは、「命を守るために、ヘルメットは必要なものだ。」ということを学びました。

それにぼくは、今まで横断歩道を渡るとき、自転車に乗ったまま渡ってしまうことが多くありました。自転車から降りて渡るの、時間がかかってしまい、速く目的地へ行きたいという思いに合わないからです。しかし、9月に行われた交通安全教室で実際に自転車に乗って実習し、おまわりさんから、「横断歩道を渡る時は、ちゃんと自転車から降りて左右を確認してから渡りましょう。」と言われてからは、それが命を守るために必要なことだとなつとくができ、自転車から降りて、しっかりと左右の安全確認をしてから横断



体験発表を行った金山凜吾君
(中郷小学校5年)

歩道を渡るうと決心しました。

ぼくは今、疑問に思っていることがあります。ぼくは、今まで歩道を自転車に通っていました。しかし、何か月前にテレビのニュースで、自転車も車道を走らなくてはならないと聞いて、驚ろかされました。ぼくは、これまで自転車も歩道を走っていたいいものだと思います。「そんなんだ。」と思いついていたからです。「そうなんだ。」と思い、これからは、車に巻き込まれないように自転車に乗ろうと思えました。しかし、まだ疑問が残っています。それは、ぼくの友達は、みんな歩道を走っていたからです。交通安全教室の時も、みんな車道ではなく、歩道の方を走って実習していました。

疑問に思い、インターネットで調べてみました。その結果、原則的に自転車も車道を走らないといけないことと、13才未満の子ども、60才以上の人は、歩道を走っていいということが

分かり、なるほどと思いました。ぼくは11才なので、歩道を自転車で走ることができませんが、歩行者の安全に気をつけながら、自転車を運転しなければなりません。

毎年学校で、ぼくたちは、おまわりさんからご指導をいただいています。自分自身はもちろんのこと、多くの人たち一人一人のたつたひとつの命を守るためにあるのだと思います。ぼくたちが毎日元気に明るく、登校や下校ができるのは、地域の方や警察署の方のおかげです。

これからもおまわりさんの教えをしつかり守り、交通安全への意識を強く持ち、ぼくたちの手で交通事故がゼロの安全な三春町にしたいです。

▼ 問 総務課 自治防災グループ

☎ 62-11114



12月9日～1月8日
寄附・ボランティアの方々
(敬称略・順不同)

▼ 【福祉】 (社会福祉協議会へ)

▼ 寄附

▼ 寄附金

三春ライオンズクラブ

新日本舞踊松栄流すみれ会

▼ 物品

三春ライオンズクラブ

本田キクノ (四反田)

人権擁護委員が 再任されました

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱され、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護していくことを使命としています。

三春町の人権擁護委員として、次の方が1月1日付けで再任されました。人権擁護委員は、毎月定例の人権相談のほか、個別での相談にも応じておりますので、お気軽にご相談ください。



松崎正夫さん
(鷹巣)

☎ 62-6626

▼ 問 住民課 住民グループ

☎ 62-8126

▼ ボランティア

日赤奉仕団／ひまわりの会／花しづく(郡山)／田村高校JRC他／新生教会三春支部／八幡会(八幡町)／三春中学校／上野トク(平沢)／村上貞子(八島台)／石塚ハツエ(荒町)／橋本光子(御免町)／渡辺えみこ(富岡仮設)

▼ 【ふるさと応援寄附金】

小林弘典(埼玉県)

